

「誰も一人ぼっちにしない、
誰も排除しないまち」



エスディージーズ SDGs × 阪南市

阪南市から世界に向けてSDGsを発信します

本市では、これまで協働・共創の推進を重点に置き、「誰も一人ぼっちにしない、誰も排除しないまち」、共生の地域づくりの実現に取り組んできました。

この取組は、2015年国連サミットにおいて全会一致で採択された、
S D G s (持続可能な開発目標: Sustainable Development Goals) に掲げる理念と一致するものです。

SDGsを推進することで、これまでの取組をさらに充実させ、また、人口減少社会の中でも持続可能なまちづくりをめざしていきます。



トピックス

「SDGs」って何だろう？

国連加盟国が合意している持続可能な世界を実現するための17の目標のことです。2030年までの達成を目指しています。

開発途上国だけでなく、先進国も含めた**全人類の目標**とも言えます。



全国初！「SDGs推進」を狙いとした包括的連携協定を締結

◎行政経営室（内線 2533）

2月15日、SDGsの推進に向けて緊密な相互連携と協働による活動を推進するため、FC大阪（一般社団法人FC大阪スポーツクラブ）と包括的な連携協定を締結しました。



インターネットテレビ「阪南TV」がスタート（月1回放送）

◎秘書広報課（内線 2510）

FC大阪の協力の下、本市の様々な情報をお届けする番組「阪南TV」の配信がスタートしました！ 放送終了後は、いつでもパソコン、スマートフォンで気軽にご覧いただけます。視聴は無料です。

4月放送は、4月16日(火)12時からです。お楽しみに！



公民協働のまちづくり

◎地域まちづくり支援課（内線 2327）

■はんなん共創事業プランコンペ

行政との協働だけにこだわらない、市民の皆さんの事業プランを皆さんに発表してもらうため、コンペ形式で実施します。事業プランのブラッシュアップはもちろん、プラン具体化のための伴走支援も行います（詳細は後日）。

■はなていアクション～阪南市行政サービス協働化制度～

本市の全ての事務事業を公表し、NPOなど民間の新しい視点での事業提案を募集・実施することで公共サービスの担い手の多様化、事業の協働化を推進します。市の事業を、「自分たちならこうできる」という提案を具体化する制度です（詳細は後日）。



動く市長室 ～学ぶ・動く・つながる～

㊟秘書広報課（内線 2305）



市長が毎週1か所、校区福祉委員会「まちなかカフェ・サロン」などにおじゃまします。市長と気軽にしゃべりましょう。どこに立ち寄るか、お楽しみに！



「全国アマモサミット 2018 in 阪南」の取り組みをSDGsの視点から見ると…

㊟農林水産課（内線 3302）



昨年11月、「アマモ」の再生をキーワードに、

海の再生活動に取り組む人たちが集う「全国アマモサミット」が本市で開催されました。

そこで紹介された「海を守り隊！」は、西鳥取小学校の児童たちが「きれいで元気な海をわたしたちが守っていきます！」という気持ちを込めて作ったキャラクターたちです。

この一つひとつの隊員活動にもSDGsにつながるメッセージが込められています。



トピックス

**国や自治体はもちろん、
個人の取組もSDGsにつながっています!!**

- 隊員1号 ゴミひろいくん
- 隊員2号 水をとめるくん
- 隊員3号 むだづかいしないくん
- 隊員4号 のこさないくん
- 隊員5号 よびかけるくん



アイデアをまちづくりに
生かしませんか？

**市民協働事業提案制度
提案募集**

㊟地域まちづくり支援課（内線 2326）

●市民協働事業提案制度とは？

市民公益活動団体の専門性及び柔軟性などを生かした公益的な事業の提案を募集し、提案された事業を市民公益活動団体と市が協働で行うことで、地域課題の解決・改善に向けて取り組む制度です。

提案できる団体の要件・事業の要件・応募方法など、詳しくは地域まちづくり支援課で配布及び本市ウェブサイトに掲載の募集要項をご覧ください。

●募集区分

次のA、Bの事業提案を募集します。

A「市民自由提案部門」

市民団体の自由な発想によって具体的な事業を提案するもの

B「市設定テーマ部門」

・着ぐるみ「はなてい」のプロデュース（秘書広報課）

上記の市設定テーマに対して、市民団体が具体的な事業を提案するもの

●応募期間

4月1日(月)～5月31日(金)

●応募から事業実施までの流れ

応募前に協働事業の実現性を高めるため、5月25日(土)まで、市民活動センターでサポート相談が受けられます。

